

令和 5 年 6 月 16 日現在

機関番号：34507

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2022

課題番号：18K00915

研究課題名（和文）近現代国家における先住民の包摂とその影響 北米（米加）ボーダーランズの事例から

研究課題名（英文）Integration into modern states and the impact of transformation of people from U.S.-Canadian Borderlands

研究代表者

岩崎 佳孝 (Iwasaki, Yoshitaka)

甲南女子大学・国際学部・教授

研究者番号：90340835

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、現代のアメリカ合衆国とカナダの先住民集団（部族）の在り方とその社会が抱える重大な諸問題の多くが、18世紀末から20世紀初頭の両国家への統合過程でその社会の実態が大きく変容したことでもたらされたことを歴史学的に検証することを試みた。
具体的には合衆国とカナダによる国内先住民集団の包摂構想と、それに対するボーダーランズの先住民集団の反応、その結果としての実体の変容、さらにはそのことが21世紀現在の米加両国内における先住民集団が負う諸問題とどのように関連しているかについて、複数の事例をもとに立証した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

一般の認識、および既存の学術研究では、先住民集団を既定のものとし、国毎に論じられることが多い。しかし本研究では米加国境を跨ぐ領域（ボーダーランズ）を生活圏とする集団の在り方がヨーロッパ人入植以前の先住民集団のかたちにもっと近いことを立証し、それがいかに両国家の「内部」に先住民として包摂され、その結果実体の変容を強いられたに至ったのかという点を議論した点に、学術的／社会的意義があると考えられる。
また以上のような分析から本研究は、米加のみならず世界における国家と先住民の適切な関係構築のための知見と方策を見出し得る可能性も有している。

研究成果の概要（英文）：This study posits that the current existence of modern indigenous groups/tribes in the United States and Canada, coupled with the significant challenges they have endured, can be attributed to their social transformations resulting from the inclusion process initiated by the respective federal nations from the late 18th century to the early 20th century. Specifically, this study shows how various indigenous groups/tribes in the 21st century, both in the U.S. and Canada, are interconnected with the policies formulated by the U.S. and Canadian governments to integrate indigenous people, reactions of indigenous people from “North American Borderlands” to these policies, and final transformation of their “tribal” identity.

研究分野：歴史

キーワード：先住民 アメリカ合衆国 カナダ 先住民 ボーダーランズ ボーダーランド

研究成果報告書

甲南女子大学
国際学部
岩崎佳孝

1. 研究開始当初の背景

本研究申請者は申請以前より「アメリカ先住民による近代的ネーションの建設と合衆国連邦体制内におけるその位置づけ」という主題の研究を行っていた。合衆国内の先住民集団(いわゆる「部族」)は家族、血縁、地縁を基礎とする自律的小集団(バンド)は、農耕定住、狩猟・採集、交易、交際などの目的に応じて、ときに広域移動しつつ適宜離合集散し、それに伴い集団間や集団の成員の境界、集団成員への統治の規模も柔軟に、随時変化していた。しかし合衆国の先住民国内包摂政策によって、このような先住民社会の在り様は18世紀末以降20世紀初頭にかけて、境界で隔たれた地域内への定住、一定の成員規定とそれに適合しない者の排除、中央集権的社会統治を行う先住民政体へと、実体の大きな変容を強いられた。

特定の先住民集団の事例研究を基に以上のような研究成果を得たのち、北米大陸のほ他の先住民集団に目を向けたとき、この論旨をどれほど敷衍しうるのかという検討課題が浮上した。特に、合衆国とカナダ建国以前より米加国境地域(米加sボーダーランズ)に生活圏を有し最終的に合衆国政府のみならずカナダに包摂統合されていった先住民集団には、上記の立論がどれほど適用できるのかという点を検討したいと考え、本研究を申請した。

2. 研究の目的

本研究の目的は、米加両国家による「保留地」単位を基本とする恣意的かつ強圧的な先住民の国家包摂・統合が、米加ボーダーランズの先住民集団社会をどのように変容させ、ひいてはそのことが現在の合衆国およびカナダ西部各地の先住民コミュニティの悲惨な現状とどのように関連しているのかについて、歴史的に明らかにすることにあつた。

3. 研究の方法

上記の目的を達成するために、19世紀末~20世紀初頭にかけての合衆国およびカナダにおける「先住民集団」の規定の在り様、それに伴う米加ボーダーランズ先住民集団の1)「国内先住民」としての創出(社会・実体の変容)、2)アメリカおよびカナダ外への国家からの放逐ないしは自発的逃亡というふたつの観点から、複数の先住民集団の事例について研究した。

4. 研究成果

合衆国とカナダによる国内先住民集団の包摂構想と、それに対するボーダーランズの先住民集団の反応、その結果としての実体の変容、さらにはそのことが21世紀現在の米加両国内における先住民集団が負う諸問題とどのように関連しているのかについて研究するうえで、具体的には「3. 研究方法」で挙げた1)については19世紀末~20世紀初頭にかけての合衆国ノースダコタ州における「タートル・マウンテン・チピワ保留地」および、20世紀初頭のモンタナ州「ロッキー・ボーイズ・インディアン保留地」が創設される過程、また2)については19世紀末~20世紀初頭に上に述べたタートル・マウンテン・チピワ保留地から追放され21世紀初頭までモンタナ州で「先住民ではない被差別民」となった「リトル・シェル・バンド」、そして19世紀末にカナダに亡命するも最終的に帰順した合衆国の保留地に吸収された「シッピング・ブルのラコタ」集団の事例について、詳しく検討した。

本研究では、現在のアメリカ合衆国とカナダの国境地域(米加ボーダーランズ)に在った先住民集団の在り様とその社会も、18世紀末、特に19世紀末から20世紀初頭の両国家への統合過程でその社会の実態が大きく変容を強いられたこと、そしてさらにそれらの社会が今なお抱える重大な諸問題の多くも以上のような過程もたらされているということが検証されたといえる。

そして本研究の学術的意義や社会的意義は、一般の認識、および既存の学術研究では、先住民

集団を既定のものとし、国毎に論じられることが多いが、本研究では米加国境を跨ぐ領域（米加ボーダーランズ）を生活圏とする集団の在り方がヨーロッパ人入植以前の先住民集団のかたちに最も近いことを立証し、それがいかに両国家の「内部」に先住民として包摂され、その結果実体の変容を強いられたのかという点を議論した点にあると考える。

さらに以上のような本研究の分析は、世界における国家と先住民の適切な関係構築のための知見と方策を見出し得る可能性も有していると考え

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 岩崎佳孝	4. 巻 17
2. 論文標題 シリーズ特集 歴史学の「国境」11 先住民を巡る国境と境界の歴史的考察 アメリカ合衆国による「ボーダーランズ」先住民集団の非「認定」問題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 パブリック・ヒストリー	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩崎佳孝	4. 巻 55
2. 論文標題 「内」と「外」の先住民 19 世紀後半アメリカ合衆国インディアン政策と先住民集団のカナダ亡命まで	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 甲南女子大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 1, 9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計7件（うち招待講演 3件/うち国際学会 0件）

1. 発表者名 岩崎佳孝
2. 発表標題 我々は今貧しいが、自由である」 19世紀後半の「アメリカ」先住民のカナダ亡命をめぐる考察
3. 学会等名 関学西洋史研究会 第23回年次大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎佳孝
2. 発表標題 アメリカ合衆国における先住民主権の所在 インディアン・カントリーの刑事裁判権の考察より
3. 学会等名 外交史研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎佳孝
2. 発表標題 ボーダーランズの混血者と国家 - アメリカ合衆国モンタナ州におけるメイティ・コミュニティからの考察
3. 学会等名 第48回中・四国アメリカ学会年次大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岩崎佳孝
2. 発表標題 メディスン・ラインを越えて カナダの「アメリカ」先住民と米加両国の対応
3. 学会等名 関西アメリカ史研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎佳孝
2. 発表標題 「ボーダーランズ」の先住民と国内先住民の「ボーダー」 アメリカ合衆国による先住民集団リトル・シェル・トライブの非「認定」問題からの考察
3. 学会等名 日本アメリカ史学会第16回年次大会シンポジウムA「変動する諸国家と北アメリカ先住民」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshitaka Iwasaki
2. 発表標題 Inconspicuous Relationship between Native Americans, US Army, and Japan
3. 学会等名 USAR-J National American Indian Heritage Observance 2019 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岩崎佳孝
2. 発表標題 「偉大なる父」と「祖母の大地」 19世紀後半北米先住民集団の合衆国からカナダへの亡命の意味
3. 学会等名 第86回西洋史読書会大会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 野崎 志帆、ウォント盛 香織、米田 明美	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 208
3. 書名 本気で女性を応援する女子大学の探求	

1. 著者名 岩崎佳孝（分担執筆「カナダ社会で活躍する先住民 たいまつを高らかに掲げて」）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 380
3. 書名 現代カナダを知るための60章【第2版】	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------